



森島前理事長
追悼号

ABBF ニュース

全国実業団ボウリング連盟

発行
全国実業団ボウリング連盟

〒144-0052 東京都大田区蒲田5-33-4
川名ビル2F
TEL 03-3733-5888 番
FAX 03-3733-5893 番



森島弘仁さんとの思い出!!

第三代理事長 小鹿 治光



一九七二年八月に当時の全日本実業団ボウリング連盟(JBBF)「現在のABBF同様の団体」が第三回海外派遣親善ハワイ遠征に参加したが森島さんと親しくお付き合いをさせていただくことになりました。

森島さん三十五才、私が三十才で高校時代にはサッカーの全国大会で優勝したチームの主将を努め、東京

農大には将来を嘱望され入学しました。が膝の故障からサッカーを断念、その後のリハビリを兼ねて始めたボウリングに夢中となったとの事です。

八年程前にお会いした際には、「リーグ広島サンフレッツ発行の「広島の名前のサッカー名選手」の新聞に森島弘仁さんの名前が掲載されておりました。(社)日本ボウリング場協会の副会長に就任されておりました広島パーク

レーン斉藤隆幸氏も森島さんは私達のサッカー界では偉大な先輩なので頭が上がりないうちでございました。広島市役所にお勤めの頃に広島市にてアジア大会が開催されましたが、その際には行政の課長としてボウリング部門にも大きく貢献されたこと聞いております。

その後は我が国最大の国立公園として建設された備北公園の初代園長として勤務された折にはお誘いをいただき二度遊びに行きました。

備北公園の職員さん達とのパーベキュー会には私も故里青森県からホタテや蛸を直送してもらって夜遅くまで楽しく過ごしました。(森島さんも私もお酒は飲みませんが！)

仕事を定年退職後は広電ボウルにてボウリング教室を行い、ボウリングの振興にも努めておられ、後年はお孫さんの相手をする事と、パチンコと

共にボウリングを投げけることを人生の楽しみにされておりました。二〇〇六年からは全国実業団ボウリング連盟の理事長に就任され、四〇〇名会員のリーダーとして業界発展にもつとめていただきました。

三月十一日の東北地区大震災後も全国のボウリング仲間と共に被災された方々への義援金募集にも甚力をつくされました。

六月丸亀スターボウルで開催された西日本選手権大会では精魂尽き果てるまで投げ抜いたと聞いております。サッカーを愛し、ボウリングを愛し、お孫さんを愛した「モリさん」！

素晴らしいことを沢山残していただきました。大いなる功績を後々まで伝えていきたいと思っております。

「モリさん」安らかにやすみ下さい。私達にもよくアドバイスをしていただきました。リーグの最中などでも気を抜いた打球をしていると「なんしょんや！ちゃんと投げや！」と離れたBOXからでもよく大声で怒られたものでした。もうあの声が聞けなくなると思うと寂しくしょうがありません。今日も試合中に遠くの方から「しっかり投げや」と声が聞こえてきそうです。

森島理事長を偲んで

ABBF理事

広島支部 松尾 祐児



森島さんとの出会いは私がABBFに初めて加盟した20歳そこそこの頃でしたが、その頃の印象はほとんど無く、その後も私の個人的事情により休んでいましたので、ボウリングを再開し、ABBFに再加盟した15年前からの思い出のほうがより強く残っています。森島さんの第一印象は「ジェントルマン」でした。柔らかな物腰や容姿、シルバークレーの頭髪など森島さんと出会った誰もが紳士と呼ぶにふさわしい人物だと思ったに違いありません。容姿のみならず広島支部会員との友好関係も多様でした。結婚記念日に花を贈られたり、蘭の鉢植えの育て方を伝授されたり、ペットを連れてきたりす

るとすぐに抱っこして「美人だ」とか言ってくれて愛が伝わって来たり、大会で入賞できた時などは自分のことのように喜んでくださりご飯をご馳走していただいたりした、という会員の声がかかるように、会員を愛し、会員に愛されていた。そんな森島さんが、ABBF創設者の初代故寺尾重蔵氏の後を継ぎ、広島支部から2代目ABBF理事長に就任された時は、私はもとより広島支部会員の皆で喜んだことが昨日のことのように思い出され、あまりに早い訃報にまだ落胆の色が隠しきれません。

少し森島さんの経歴を紹介しますと、森島さんとスポーツの関わりは深く、高校時代はサッカー部のキャプテンとして国体優勝や海外遠征もされたそうで、シニアになってもボウリングと平行的に社会人のサッカーチームでプレーを楽しんでおられたそうです。その他のスポーツに関しては知識や交友関係も深く、根っからのスポーツマンであり尊敬しておりました。また、アジア競技大会が広島で開催された時は競技課長としてご尽力され東奔西走で大会の大成功に寄与されました。お仕事の方でも広島市役所で公園緑地整備の関係で活躍され、晩年は国営備北丘陵公園の初代園長としてその経験や知識を発揮されました。森島さんの息子さんがそんな父親の後ろ姿をみて同じ広島市役所で公園緑地整備のお仕事をされているとお聞きし父親としても偉大な人であったことに、とても感銘を受けました。

数多い森島さんのエピソードの中から、少しばかり森島さんとの思い出を語りたいと思います。スポーツボウラーとしての森島さんの打球は一言で言うところ「テクニシャン」の言葉がぴったり当てはまります。難コンデションでも多彩な打球技術で攻略され、若い